

【現代風“組織一丸”マネジメント】シリーズ

景気回復期にふさわしい“行動原則”？

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【景気回復期に求められるものは？】

景気が本格的に“回復”して行くとしても、ただ“待っている”だけでは、なかなか“恩恵”は得られないかも知れません。

“待っている”だけで“仕事”が増える際にも、何か“新しいアクション”を起こさなければ、“好ましい価格”で商品やサービスを展開することは難しいと言えそうなのです。

【“新しい”ものが全てOKとは限らない！】

しかし、特別に“指示”をしなければ、従業員の皆様が“進んで新しい課題に取り組む”ケースは少ないでしょう。

しかも、いかに必要だとしても、“新しいアクション”なら、どんなものでも効果があるとは、当然言えそうにないのです。

【当然リスクもあり得る】

逆に、無理に新しい可能性を探してしまうと、思わぬ勘違いや失敗に突進してしまうリスクさえあるかも知れません。

少なくとも“効果”が出るまで継続できるものでなければなりませんし、継続できても“必ず”成功するという保証はないからです。

【景気回復期の行動原則】

ではどうすればよいのでしょうか。特に何か“新しいアクション”が求められる景気回復期には、それ相応の“行動原則”があります。

そして、従来から温めて来た“秘策”がある時も、これから“策”を考える時も、一定の“原則下”に従うのが、案外“容易”なのです。

【キーワードは“テスト”？】

その“原則”を示すキーワードは、“テスト”なのですが、そこに秘められた考え方は、言葉以上に奥の深いもののようなのです。言葉としても、“テスト＝試験”より、“テスト＝試しと分析”と捉えた方が良くかも知れません。

【ご希望者は完全版購読をお勧めします！】

そんな“現実的視点”に至った、ある経営者の体験を、レポートに取りまとめました。

景気回復の本格化と税制上の先行き不安が混在する中で、ぜひご一読の上、今後の経営方針を検証する一助としていただきたいと考えます。

定期購読（有料）希望者には当レポートの完全版を毎月お送りしますので、ご遠慮なく下記までご一報ください。



景気が回復に向かう時でも、ただ待っているだけでは、なかなか“効果”は回って来ません。自ら進んで“成果を取りに行く”必要があるのです。そのためには、どうしても“新しい取り組み”が不可欠になります。

しかし“新しいこと”には必ずリスクが伴います。明確なリスクがない時でも、“どうしてもよいか分かりにくい”ために行動に勢いが付きません。そんな時にどうするか…、チャンス獲得のための行動原則を考えます。

少数精鋭でビジネスに取り組む皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぶりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所
983-0834 仙台市宮城野区松岡町 20-61

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます！